

顧客の問題解決

価値を最大化する市場化支援

分析

設計

構築

統合

活用

展開

実物層とは

計画層とは

記録層とは

DB(データベース)層とは

プレゼンテーション層とは

利用層とは

解説
各種有形無形資料全般をさします。又、写真や映画、ビデオで撮影したフィルムやテープも現物層に含まれます。

将来の使用法、活用目的、提供方法などに合わせて、どのようなアーカイブをつくるか概要、構造を整理まとめることです。

文化財を撮影または複写し、文章／図版／画像／映像／音声／などをデジタル化する方法、ならびにデジタル化されたデータのことをいいます。

記録層で作成されたテキスト／画像／映像／音声などのデータと必要なデータを検索する検索プログラムが組み込まれたデジタルデータ全体の蓄積をいいます。

データベースに蓄積されたデジタルデータを使用して主体者が利用者に各種メディアや情報を提供することをいいます。

プレゼンテーション層で主体者が制作／提供した内容を活用して、再度、別の組織などが自分の目的に則した方法で利用者に提供することをいいます。

実物層

計画層

記録層

DB層

プレゼンテーション層

利用層

収蔵庫

社員

・現物を集める
・保存管理をする

実施設計
(目的の明確化)

現物を記録する
(デジタル化)

データを貯える。
(アーカイブ)

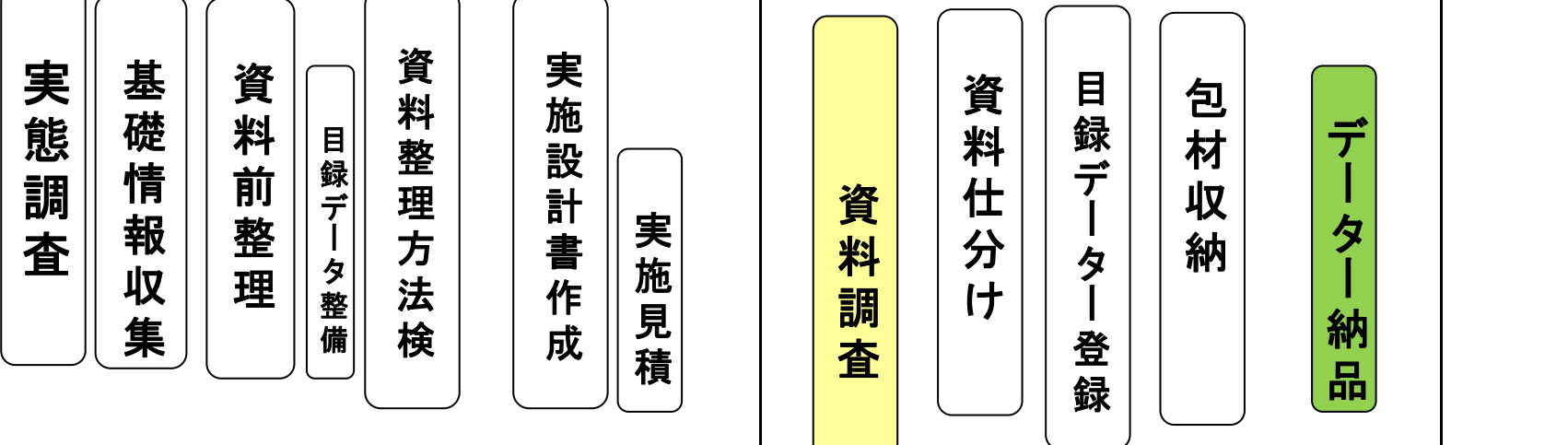
作品を創る。
(コンテンツ)

提供する。

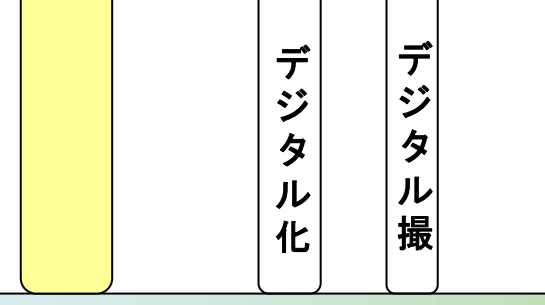
- 将来計画設計
- 予算設計
- 資産管理台帳を兼ねる
- 資料バランスが見える
- 資料保存／修復

- 研究につかいたい
- 教育に使いたい
- 資金を回収したい
- 閲覧公開したい
- 記録しておきたい
- 鑑賞に供したい
- 収集したい

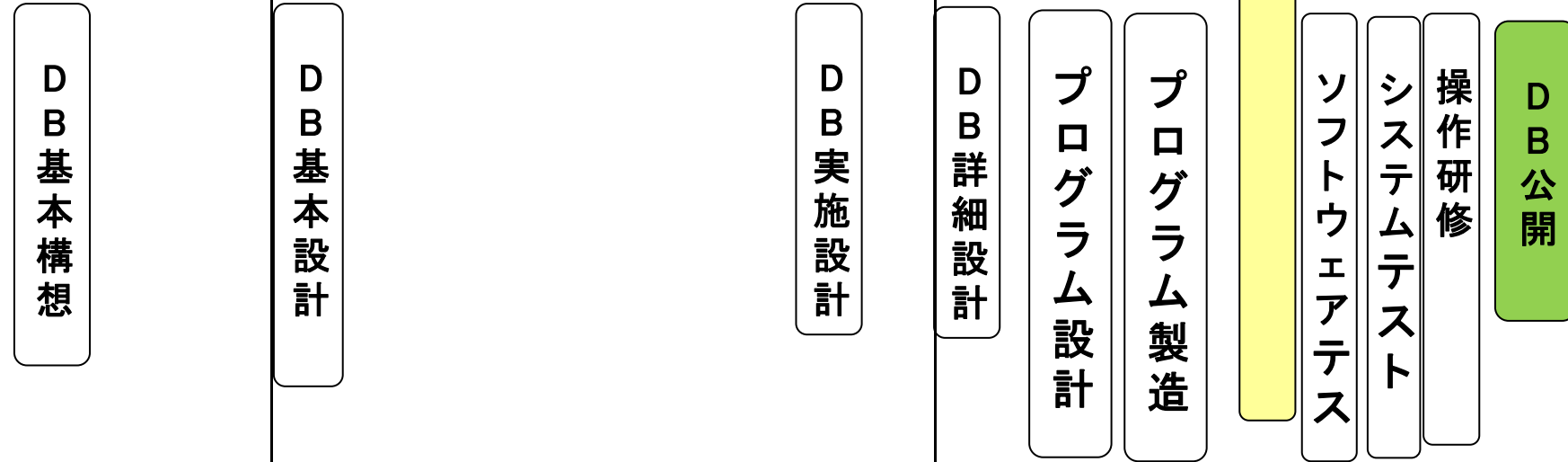
資料整理業務の流れ



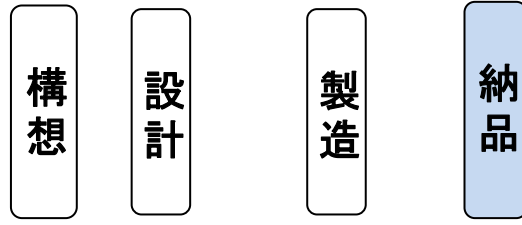
デジタル化業務の流れ



DBの流れ



コンテンツの流れ



著作物著作権処理